

文化的景観を活かした自転車まちづくり 西の湖を活かしたガイドツアー事業

2018 年 1 月発行
まちづくり会社 まっせ
<http://massee.jp>

西の湖から持続可能な未来をつくる

西の湖から考える

未来の水とコミュニティ

2015 年 9 月、国連が策定した「持続可能な開発目標（SDGs）」では、水と衛生に関する単独のゴール「ゴール6：全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」が設定されています。

私たちは、この課題に対し、西の湖という小さな湖沼から持続可能な未来を作るための具体的なアクションに取り組んでいきます。

2.8km²

Area of NISHINOKO

8km

Around of NISHINOKO



今、私たちに必要なのは まず、立ち止まること

環境や社会問題への無関心を打破するには、一人ひとりが一度歩みを止めて、見つめ、考え、それから行動することが必要です。

私たちは、近代化の波打ち際である西の湖で、地元や企業、行政や専門家と連携し水環境の課題解決に挑戦し続けます。

安土と八幡をつなぐ西の湖を中心とする文化的景観に着目し、地域の新しいメディアとしてガイドツアーをつくります。



web イメージ

コンセプト「ハチマンジカン」

昔ながらの伝統や文化が今も残る近江八幡。

暮らしの中に流れる当たり前の時間。

のんびりとしていて自由な時間。

それは、豊かで幸せな時間。

近江八幡の暮らしの時間をお裾分けする旅。

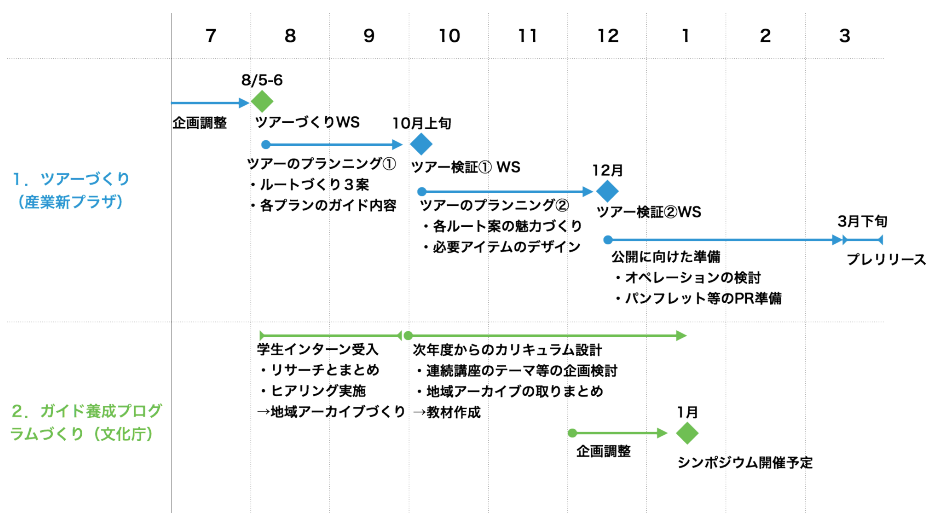


近江八幡の西の湖ガイドツアーワークショップ

滋賀県最大の琵琶湖内湖「西の湖」は、国の重要な文化的景観やラムサール条約、日本遺産にも登録される歴史と文化が色濃く残る希少な地域資源です。しかし、見所や解説がないことや生業や生態系などの目に見えにくい情報発信の不足、魅力的な移動手段がないため、市民への認知度も低く観光客も訪れない閑散とした場所になってしまっているのが現状です。

そこで、西の湖の潜在価値を多くの人々と共有するためのツアーを開発します。具体的には、西の湖近隣に残る暮らしやワザ、景観が持つ歴史や文化のストーリーを地域体験ツアーとして再編集し、短時間で深い体験を得られるサービスの構築を目指します。

平成29年度は、合計6日間のワークショップを通じて、文化的景観の価値やガイドの役割、風景翻訳に必要なノウハウやルートメイキンに関する座学と実習を行いました。



ワークショップ第1弾

ガイドトークの編集と模擬ガイド演習

- ・日時 2017年8月5日(土)・8月6日(日)
- ・目標
 - ①文化的景観の価値の理解
 - ②サイクルガイドの特性の理解
 - ③ルートファインディングと提案



ワークショップ第2弾

価値ある眺めの探し方とルートクリエイト

- ・日時 2017年10月2日(月)・10月3日(火)
- ・目標
 - ①風景ガイドに必要な「リレショナルシーン」と「ホロニックシーン」の理解
 - ②ガイドルートのタイポロジー(分類、類型化)の理解とルートクリエイト



ワークショップ第3弾

ガイドトークの編集と模擬ガイド演習

- ・日時 2017年12月14日(金)・12月15日(土)
- ・目標
 - ①安全管理ノウハウの習得
 - ②ガイド全体のコンセプト立案とトークの編集
 - ③模擬ガイドの実施とフィードバック